

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		地域密着型の特徴を生かし、地方の行事等へも参加をしている。入所者同士も知人であることが多く、話題も共通している。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		毎月の会議や日々の申し送りの際、理念を確認している。実践に向けて職員も努力している。  理念は玄関や台所へも掲示し、見やすいようにしている。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		設立時、家族会地域推進会議にて説明をしている。施設の玄関に見学自由である旨立看板を設置して奨励している。  来訪者、見学者にも目につきやすい玄関にも掲示し、説明している。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		地元の理髪店、商店等を利用している。裏の畑作りの際は、隣人とも会話をされている。職員も努めている。  散歩や畑での作業の際に近隣の方と会話をされている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		自治会の会員でもあり、地元の保育園や幼稚園の児童が来所されている。又、地元のお祭り等にも積極的に見学したり交流が図られている。  近隣の方や、慰問やボランティアで来所されている。ホームでのお祭りや行事には地元の人達の参加を歓迎している。

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者の家族や知人の来訪時に高齢者介護についての相談にも応じている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果は、会議にて検討しその改善策に努めている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果は、運営推進会議や家族へも報告し、話し合いが持たれサービス向上に努めている。		家族へも会議録を配布して意見等を伺っている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課主催の介護支援専門員研修会や香取市認知症研修会の研修にも職員は参加をされている。		10月19日実施のメモリーウォークにも職員は参加をしている。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員は認知症研修会に参加し地域福祉権利擁護事業等を学ぶ機会を持っている。		隣のフルーツユニットにも成年後見制度の利用者があり、話し合いを持っている。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止等の研修に参加し、その内容を会議にて報告し、注意をしている。		日々の申し送りの際、心身の状況の変化について把握し、話し合いが持たれている。

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者、家族とは契約時ホーム内を見学していただき、不安、疑問に対して十分な説明をし、理解をいただいています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とは、日々の会話のなかに意見が反映出来る様な雰囲気作りに努めている。</p>	<p>利用者の意見は会議にて検討し、改善に努めている。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らし方や、健康状態については、その都度変化に応じて報告をし、相談をしている。その他は月に1度文章にて報告をしている。</p>	<p>金銭については、出納帳へ記入し、月に一度コピーを家族へも知らせている。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不満、苦情等の意見は玄関に苦情意見箱を設置し、意見が述べやすい雰囲気作りに努めている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議でも職員の意見や提案を聞く機会を設けている。運営者や管理者は自由に意見が出しやすい雰囲気作りに努めている。</p>	<p>業務のなかでもその都度話し合いを持っている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状況変化の際は、その都度勤務調整を図っている。</p>	<p>利用者の病院受診等がある際は、職員の確保に努めている。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ほとんど正社員の為、異動が少なく安定している。利用者や馴染みの関係が築けている。</p>	<p>両ユニットでの異動がある場合は、日々の生活でも交流がある為に違和感が少ない。</p>

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研究などにも積極的に参加ができる機会があり、自己研鑽に努めている。	職員のレベルアップの為に、毎年実施される国家試験への受験を勧めている。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に同業者との勉強会に参加している。千葉県グループホーム連絡会や他のグループホームのお祭りの行事にも参加見学されている。	他の事業所主催のお祭りにも利用者と共に参加をして交流が持たれている。 H20.10.19.に千葉県メモリーウォーク イン香取に参加をされている。(7名)
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の親睦会にてストレスの解消が図られている。	他の事業所との交流があり、ストレスが軽減されている。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	状況を把握し研修、学習の場を提供し、各々が質の向上に努めている。	研修会等に参加された職員は、会議において発表し、目的を持ち働けるように努めている。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時に、不安にさせないように、本人から十分に話を聞き、安心ができる様に環境作りをしている。	家族の面会を促していくと共に、本人の話を受けとめるよう努めている。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の際に、不安や困っている事を伺って十分説明をして、納得ができるように努めている。	併設をされているデイサービスからの入居者が多く不安感が少ない。

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者と家族の要望を聞き、その都度説明しよりよいサービスが提供できるように努めている。		利用者と家族が納得できない際は他のサービス施設への説明をして選択の機会を提供している
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が他の利用者と共に安心して生活ができるように職員が雰囲気作りをすると共に信頼関係が築けるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の人権を尊重すると共に、お互いに学び得る事も多く、信頼関係を築いている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とはお互いに相談しながら支え合う関係作りに努めている。		家族とは利用者について相談しながら支え合っているように努力している。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族がこれまでの関係が築けるように相談や支援に努めていると共に、お正月等の帰宅をされ、ご家族と共に過ごす時間を大切にされている。		家族会(遠足)にも積極的に参加をされている。又運営推進会議などにも進んで利用者、家族も順番に参加され、共に支えている意識を高めている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人にとって大切にされてきた知人にも気軽に来所して頂けるように支援をさせていただいている。		併設をされているデイサービスにも知人がおり、お互いに行き来され、交流が持たれている。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士がよりよい関係が築けるように、席の配置にも注意をしている。お互いに関わりができるように工夫している。		利用者の立場を尊重し、職員が間に入りさりげなく援助をしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者との契約が終了しても、その後の関係が継続できるようにしている。		長期入院の為に対処をされても、その後のお見舞いや訪問に訪れている。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活にあった暮らし方にも配慮しながら、本人の希望を取り入れられるように検討をしている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の人権も尊重しながら、今までの生活歴、生活環境に配慮ができるように相談して努めている。		昔から馴染みのある、ほうき、お手玉等も用意をし、昔を思い出している。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の生活リズムを考えながら、今までの生活状況にも配慮して、総合的に判断をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の面会や連絡時に、本人の希望や意向を話し合い、介護計画にもいかせるようにしている。		介護計画は、本人も家族も確認されている。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、本人の心身の状態の変化に考慮しながら、現況に沿った計画を作成できるように努力している。		本人の急激な変化には、本人、家族関係者とも相談しながら見直しをしている。

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の状況の変化や気付きなどがあつた際は、ケース記録へ記入し共有している。又、会議にて検討し、介護計画に反映している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同一敷地内に併設されているデイサービスの送迎時に自宅にお送りしたり、又お帰りの車に同乗されグループホームへ帰られたり支援が図られている。		本人、家族の希望に応じた受診先や行きつけの理髪店を利用したりされており、柔軟な支援をしている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の中学校の体験学習、新人教員のボランティアの受け入れ、又消防署の立会いによる避難訓練を実施し、交流を図っている。		地域運営推進会議にも地元の民生委員や区長等の出席を頂き、意見交流が図られている。又、学校主催の文化祭にも招待を受け参加されている。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	併設をされている出居宅介護支援事業所の職員とも頻繁に交流があり、他の事業所の情報も豊富であり支援に活かされている。		千葉県グループホーム連絡会にも出席し、話し合いの場を設けている。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域推進会議には地域包括支援センターの職員の出席もあり、話し合いを持っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまでのかかりつけ医を利用して本人や家族とも相談をしながら受診をしている。		

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医と認知症専門医の療法を受診されている方もいて、必要に応じて相談をしている。		協力医療機関に認知症専門医もいて、相談や支援を得ている。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員のなかに看護師もあり、日常の健康管理に努めている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した際は、病院とも経過状況について説明を得ており、退院に付けて相談をしている。		病院でのカンファレンスには必ず施設長や管理者は参加しており、その後の支援に生かしている。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した際は、かかりつけ医、家族とも相談しており、今後の方針について共有している。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医と相談し、指示を頂くと共に、家族、職員は常に相談を持ちながら、今後にむけての支援をしている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから他の居所へ移り住む際は関係者とも話し合いながら不安の軽減に努めている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者のプライバシーや人権を尊重している。お互いに人権を損ねた対応には十分注意をされている。</p>	<p>個人情報の守秘義務が図られている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日々の生活や誕生会、買い物にも本人の希望を伺い、対応している。ご自分の意見が表出できるように穏やかな姿勢で接している。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活にあった暮らし方を把握し、その人に適した満足感が得られるように心がけている。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>外出時や年中行事の際は本人のおしゃれが出来るように希望を取り入れるように努めている。</p>	<p>本人の希望の理髪店に行かれている方もいる。外出の際は普段とは異なる服を着用し、おしゃれを楽しむ機会となっている。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の献立表を掲示し食事が楽しめるようにしている。又それぞれが自分で出来る事をして頂けるよう支援をしている。</p>	<p>食事作りの際は、出来るだけお手伝いして頂いている。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>利用者のなかにはお酒をたしなむ人もおり、楽しみにされている。又おやつ作りも利用者の好みに合ったものを一緒に作っている。</p>	<p>特に外出時はお酒等を楽しまれている。</p>

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>日中一人一人の排泄リズムを把握し誘導をしている。夜間オムツの方も日中はトイレにて排泄がしやすいようにしている。</p>		<p>本人の状態に応じてオムツを使い分けしている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ゆっくりと入浴をしていただけるように個々の希望に沿った入浴に努めている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人一人の睡眠パターンに合わせて休息して頂いている。又、日中もリハビリ体操を行い安心して眠れるように努めている。</p>		<p>かかりつけ医とも相談して処方薬を服用されている方もいる。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>自分で出来る事と出来ないことを見極め、一人一人が自分の役割を持ち生活をされている。</p>		<p>生活歴を考慮して進めているが、困難な人もおり、少しでも楽しみが持てる様に努めている。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>遠足や外出時は、ご自分で出来る方は現金にて支払いをされている。</p>		<p>お金の管理が困難な利用者には職員がさりげなく付き添いをしている。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>畑作業を好む利用者は、毎日戸外に出て、草取りや収穫を楽しみにされている。</p>		<p>天候により、日曜日のドライブやお茶を飲みに出出したりしている。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している</p>	<p>家族来所時に家族へも外出を進めている。年に一度の家族会では、ご家族と一緒に出かける機会を設けている。</p>		<p>利用者の自宅訪問や自分の好きな買い物にも外出したりされている。</p>

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望で、家族や友人への手紙や電話が自由に利用できるように支援をしている。		利用者のなかには一日に何十回も娘宅に電話されている方もいます。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者への面会は自由に訪問ができ、お茶を差し上げてゆっくり過ごしていただけるように努めている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は積極的に研修へも参加をして取り組んでいる。お互いに身体拘束には注意をしている。		職員は利用者の人権を尊重している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関やテラスのサッシ戸には鍵をかけていない。		利用者のなかには、物が盗まれたと強い妄想の方がおり、本人、家族の希望で鍵が設置されている。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在は常に把握しており、安全に生活ができるように危険な物は目のつく場所へは置かない様にお互いに気をつけている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者への危険を防ぐ為に、消毒薬、内服薬、刃物などは利用者の手が届かない場所で保管をしている。		職員全員が危険防止の意識を持ち努力している。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的に行っている会議にて、事故防止の為の学習をし、危機意識を持ち努力をしている。		転倒防止の為のすべり止めのテープ設置。避難訓練も定期的実施し取り組んでいる。

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応の仕方について研修で学び、会議にて看護師より指導を受けている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を実施している。地震や水害についても話し合っている。米、水、カンパンの非常食の常備がある。		自治会の会員でもあり、近隣の人々にもグループホームの存在は認識をされている。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人一人の高齢者ゆえ起こるリスクについては検討し、家族へも説明を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員の申し送りや急変時の際は詳細に報告をされ、その為の対応を話し合っている。		家族へもその都度連絡を行い、対応について相談している。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師からも薬の作用について説明を受けており、理解をしている。		利用者の服薬後の変化についてはかかりつけ医とも相談をし詳細に報告している。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘を改善する食事内容についても栄養士とも相談をしてメニューに生かしている。又、日頃の運動も常に心がけている。		毎日のリハビリ体操や歩行練習、嚥下体操を実施して改善に生かしている。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のうがいや義歯の洗浄は全員実施している。		夜間は義歯を洗浄剤にて消毒をしている。

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時量はチェックをしてケース記録に記入している。食欲がない人には好みの食材にて対応をしている。		義歯がない人や食事の際のむせ込みがみられた時には、刻み食やミキサー食にて工夫している。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザは利用者、職員全員実施をしている。毎日使用する布巾は消毒をしている。		トイレ使用後はペーパータオルを使用して、感染を防止している。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は栄養士が適切に管理を行い、新鮮な材料を提供している。		食中毒の予防の為、残食物は捨てて、管理に努めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設の周囲には花壇を置き、近隣の方も訪問しやすく工夫している。		近隣の方もボランティア、慰問にも気軽に訪れてくれる。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	西向きの居室にはブラインドを設けている。リビングの明るさも蛍光灯の明るさも調節が出来る様になっている。会話も暮らしの中で自然に聞こえており、安心ができるように工夫されている。		生活観や家庭的な雰囲気が味わえるように、庭で摘んだ草花や果物、野菜等も一緒に味わっている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間には、ソファーや長椅子、マッサージ機が置かれており、気の合う仲間とくつろぎの場所がある。		

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自分で使用されたなじみの物品が置かれ、自分の好みで装飾されていて、安心ができる場所となっている。		利用者のなかには、自宅でお守りをしていた仏壇が置かれている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室の窓やテラスは外気との換気がしやすく、温度計、湿度計も必ずチェックをしている。利用者の状況に対して調節をしている。		冷暖房の使用や加湿器を設置して注意をしている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレでは片側の手すりは可動式となっており、流しや洗面台は低位置に設置されている。		各部屋の時計は利用者が見やすい低位置に設置されている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入口には目印となる名前や好みの写真を貼り、混乱を防ぐ工夫をしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周には花壇を設置したり、散歩や野菜作りが出来る土地が確保されている。		トマト、なす、スイカ、うり、きゅうり等の他に柿の収穫も楽しまれています。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

【千葉県】グループホームすこやかさんフラワーユニット

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームすこやかさんの施設はデイサービスが併設されている為、少人数では難しい運動会、納涼祭、ボランティア、慰問の方々が多く来所されている為に、一緒に参加が出来て、楽しまれています。

又、栄養士が常勤である為、食事についての相談にも応じていただいている。

デイサービスにも常勤の看護師2名がいるので、緊急時には状態を見て、相談や助言をいただき早めの対応が出来る。